

# 会 議 録

## 1 会議名

第6回浦川原区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1)報告（公開）

#### ア 会長報告

- ・地域協議会会長会議の開催概要について

#### イ 委員報告

- ・地域協議会と中学生との意見交換会の実施結果について

#### ウ 市からの報告

- ・地域活動支援事業の検証・検討等に基づく見直し方法等について
- ・平成30年度冬期道路交通確保除雪計画について
- ・【情報提供】平成30年度町内会長訪問の結果について

### (2)協議（公開）

#### ア 浦川原区内の休止施設について

### (3)その他（公開）

#### ア 次回の開催日時等について

## 3 開催日時

平成30年12月17日（月）午後6時35分から午後7時40分まで

## 4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4・5

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：市村一雄、金子百合江、杉田和久、西山康博、藤田宏経会長、前島邦子、村松清、村松進副会長、和栗恵子
- ・事務局：浦川原区総合事務所大坪所長、長谷川次長、総務・地域振興グループ岩野グループ長、産業グループ山崎グループ長、建設グループ渡辺グループ長、市民生

活・福祉グループ五井野グループ長、太田上席保健師長、教育・文化グループ  
渡邊グループ長、総務・地域振興グループ宮川班長

## 8 発言の内容

### 【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告。
- ・出席者は9人。欠席委員は五十嵐広美副会長、池田幸博委員、福井克利委員。
- ・会議録の確認：杉田和久委員へ依頼。

### 【藤田会長】

それでは、「2 報告事項」に入る。「(1) 会長報告」だが「地域協議会会長会議の開催概要について」報告させていただく。

11月14日(水)午後3時30分より28自治区の地域協議会会長会議が直江津学びの交流館で開催され、私と大坪所長が参加した。なお、内容については平成31年度の予算が議会において可決される前提でこの会議を進めていくということであった。

地域活動支援事業費については、総額1億8,000万円で、配分は均等割りとして450万円×28区で1億2,600万円、残りの5,400万円を人口割りとするということであり、比率は均等割り7に対し人口割り3とした基本的な考えは変わっていない。また、追加募集の有無については各地域協議会の判断に委ねるというお話であった。ただし、残額が発生した場合は繰り越すことができないことで、ご承知おきいただきたい。

次に地域活動支援事業の検証・検討等における見直しの結果について説明をいただいた。後ほど「市からの報告」において説明はあるが、約30項目において事業の効果や目的に対して見直したということであった。浦川原区地域協議会において、あまり大きな変更は認められないと私は判断したが、採択方針の見直しについては、1月以降の地域協議会で協議していく。

見直しの結果についての説明後、28自治区の会長が3つのグループに分かれて討議を行った。私はC組になり、諏訪区、津有区、有田区、八千浦区、大島区、吉川区、中郷区、名立区の会長とお話させていただいた。

本日の会議資料や市からの報告での説明と重複するため、簡単に申し上げるが、一点目は、今回の見直しにおいて、市としては極力制限を加えることなく市民の皆さんの発意を大切にしながら、広がりを持った地域活動が行われるようにする。もう一点は、身近な地

域における課題の解決を図り、それぞれの地域の活力を向上するために市民の皆さんが自発的、自主的に行う地域活動を対象にする。そして、地域の目指す姿、地域で課題となっていることを議論して、採択していただきたいということであった。

全体会議の中でいろいろな意見が出たが、最終的には各区で採択方針を見直すということであり、浦川原区地域協議会としても1月から皆さんと見直し等を協議し、改めて採択方針を決めていきたいと考えている。

これについて何か質疑等ないか、なければ次の「(2) 委員報告」の「地域協議会と中学生との意見交換会の実施結果について」村松進副会長より報告いただく。

#### 【村松進副会長】

12月12日(水)に浦川原中学校1年生32人を対象に、地域に愛着を持ってもらうため浦川原区の魅力マップ作りを地域協議会委員10人と実施した。

中学生は総合学習において事前に学習されていたことから、当日はスムーズに実施することができた。皆さんもお気づきだと思うが、中学生は我々が気づかない部分まで本当に良く観察していたと感心した。また、地域協議会委員の皆さんにもアドバイスを聞きながらマップ作りを進めることができた。

意見交換会の中で、中学校から「浦川原区の地域協議会はすごい。」と言われた。その理由についてお聞きしたところ、中学生と一緒にやって対応していただける地域協議会は他にはないとおっしゃっていた。また、「この取組みについては、今年だけではなく、来年、再来年と継続してほしい」とおっしゃっていた。

魅力マップ作りは、平成31年2月末までに総合学習を通じて完成させていただき、総合事務所に提出してもらった後、浦川原区内の5か所及び上越市役所ロビーにある中山間地域情報コーナーの合計6か所に掲示する予定である。9月25日の現地視察から今回の意見交換会まで中学生の姿を見ていると、大変しっかりしていると感じられた。

#### 【藤田会長】

この意見交換会で市村委員は欠席されていたが、何か質疑等ないか。

#### 【市村委員】

完成したマップを見てから、お話をお聞かせいただければと思っている。

#### 【藤田会長】

他に意見、質問等ないか。

(会場より「なし。」の声)

それでは次に「(3) 市からの報告」についてだが、報告順を「平成30年度冬期道

路交通確保除雪計画について」、次に「平成30年度町内会長訪問の結果について」を報告していただいた後、「地域活動支援事業の検証・検討等に基づく見直し方法等について」を報告していただく。それでは「平成30年度冬期道路交通確保除雪計画について」説明をお願いします。

【建設グループ渡辺グループ長】

(資料2に沿って説明。)

【藤田会長】

ご意見、ご質問等ないか。

(会場内より「なし。」の声)

次に「平成30年度町内会長訪問の結果について」説明いただく。

【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

(資料3に沿って説明。)

【藤田会長】

委員の皆さんから、この資料をお読みいただき、機会を捉えて質問等を伺っていきたいと思っている。次に「地域活動支援事業の検証・検討等に基づく見直し方法等について」説明をいただく。

【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

(資料1に沿って説明。)

【藤田会長】

委員の皆さんから、この資料を十分に読み込んでいただき、2月までに浦川原区の採択方針を決めていきたいと考える。これについてご意見、ご質問を受ける。

【杉田委員】

1月、あるいは2月の地域協議会で採択方針を検討し結論を出すということか。それと資料の中段にあるように「あらためて市が集約し、各地域協議会へフィードバックする。」とあるが、このフィードバックは3月の地域協議会で示されるのか。

【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

平成31年度の採択方針の協議スケジュールについては、委員の皆さんより資料を読んでいただき、各自の意見を1月の地域協議会でいただきたい。それを事務局が整理し、2月末までに採択方針を決定していきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

次に、平成31年度の採択方針が28自治区でそれぞれ協議され、2月末までに決定されると思われる。市としては、28自治区で協議された採択方針を取りまとめ、皆さんへ

フィードバックするのは、新年度に入ってからと考えている。

【大坪所長】

杉田委員が心配していることは、フィードバックが遅ければ新年度の採択方針の見直しに反映されないのではないかという懸念があるということだと思う。

今回は各区で検討していただいた結果を4月以降にまとめて継続的な見直しに向けた資料としてフィードバックしていくということであり、31年度は31年度で動きながら28自治区の状況を踏まえて、32年度へ向けて修正等を行い、より良いものにしていくということである。

【藤田会長】

基本的には、浦川原区の採択方針については変わらないが、フィードバックにより削るもの、付け加えるもの等出てくると思われる。しかし、皆さんが今まで採択に向けて審議していただいた内容の大枠は変わらないと解釈いただいて結構である。岩野グループ長より説明いただいた内容は、市全体の流れについて説明いただいたということで、ご理解いただきたい。

【杉田委員】

先ほど、藤田会長より大枠は変わらないというお話があったが、資料には市の見解が示されている。例えば、新規事業を増やすため継続して提案される事業に対し、補助率の見直しなどを適用するということである。この見直し等における検証の中で、私は補助率の見直しについては反対の立場であった。この補助率について資料にあるとおり10分の9、10分の8、10分の7と見直すのであれば、しっかりと論議しなければならないと思う。平成31年度にこれを反映することは難しいことから、平成32年度からの適用が良いのではないかとと思うが、その辺いかがか。

【藤田会長】

その議論を1月から実施したいと思っているので、杉田委員の言われた部分についても委員の皆さんから承知していただき、検討したいと思っている。

【杉田委員】

了解した。

【藤田会長】

他に意見、質問等ないか。なければ「3 協議」だが今回は特に議題はないが、皆さんから何か協議事項はないか。

【市村委員】

藤田会長から、当協議会で小学校やゆあみの休止施設のことを検討していかなければならないといったお話があったが、テレビか新聞か忘れたが、補助金の返還に関する規制が緩和されたような話を聞いた。今までは補助金の制限があったため、当初の目的以外に利用してはいけないといったことがあったと思う。行政で把握している情報があればお聞きかせ願いたい。

【大坪所長】

学校の校舎に限ったことなのか詳しく承知していないが、国が補助金を出して施設を建てた場合、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律がある。補助金を活用して施設を建設した際、建設年によって施設の耐用年数が何十年間か定められており、当初の目的以外の用途に使用する場合、補助金の対象外となり国へ返還するものである。

近年の市町村合併及び急速な人口減少が進む中で、この補助金の適正化に関する法律による規制が非常に厳しく、自治体が補助金を返還することができなくなっているため、少し規制が緩和されるということである。

学校は学校の補助金をもらって建設したわけで、その目的から大きく逸脱したものに対しては補助金の返還対象になっていたものを少し緩和しようという国全体の流れであるとお聞きしている状況である。

【藤田会長】

市村委員よろしいか。

【市村委員】

了解した。

【杉田委員】

中保倉、末広小学校の空き校舎において、別の用途に使用すると申請したとして、この補助金の適正化に関する法律で補助金返還の対象になるのか、ならないのか、その辺いかがか。

【大坪所長】

再度、確認させていただくが、現在その法律が制定されていれば返還の対象にはならないと思われるが、教育委員会、各省庁での取り扱い等、それぞれ違う場合もあるため、次回の地域協議会までに確認させていただき、正確に回答できるようにしたいと考えている。

【藤田会長】

小学校やゆあみといった区内の休止施設の再利用については、平成30年3月に大坪所長等と私とで今後どのように進めていけばよいか協議をさせていただいた。私が地域協議

会の委員として提案書を提出することから、現在、まとめているところである。

岩野グループ長からは、1月の地域協議会で協議するのであれば、早めに提出してほしいと伺っていることから、調査項目もあるが年内中に提出したいと考えている。したがって、1月、2月にその議題が出てきて地域協議会としてどう取り上げていくかということが協議の対象になると思っている。

他に何かないか。なければ「4 その他」に移る。「(1) 次回の開催日時等について」だが、平成31年1月30日(水)午後5時30分より、ここ浦川原コミュニティプラザの市民活動室4・5で開催したいと考えている。いつもより早い開催時間であるが、予定していただきたい。

他に、皆さんより何かないか。

#### 【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

今ほど藤田会長よりお話のあった委員提案後の流れについて補足させていただく。

浦川原区における小学校、ゆあみの休止施設に関する考え方など、地域課題も含めて提案書を12月末までに提出していただく。

その提案を受け、委員の皆さんから提案されたものが地域課題なのか、自主的審議事項として取り上げるべきかどうかの方針を勉強会の中で決定していただく。

次に地域協議会の中で自主的審議事項にするか否かの可否をとり、自主的審議事項になった場合は、協議事項として審議を行っていく流れとなる。

1月以降の地域協議会の開催前か開催後に勉強会等を実施させていただくことになると思われるので、よろしく願いしたい。

#### 【藤田会長】

他にないか。なければこれで第6回浦川原区地域協議会を閉会する。

#### 9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : [uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp)

#### 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。